

# $\frac{1}{7P}$ の小数展開の循環節

学習院大学理学部数学科 内藤ひとみ

## CONTENTS

1.	目的	2
2.	$\frac{1}{7p}$ の分割和の場合分け	4
3.	A型の2分割和	8
4.	A型の2分割差	14
5.	分子が一般の場合	22
6.	今後の課題	26

## 1. 目的

### 例 1

$$\frac{1}{7} = 0.1428571428571 \dots$$

循環節 [142857] を 2 分割して足すと、  
[142] + [857] = [999] となる。

### 例 2

$$\frac{1}{13} = 0.0769230769230 \dots$$

循環節 [076923] を 2 分割して足すと、  
[076] + [923] = [999] となる。

一般に素数 $p$ について分数 $\frac{1}{p}$ を小数展開し、  
循環節の長さ $u$ が偶数のとき ( $u = 2m$ )、  
循環節の2分割和は9が並ぶ。

ここでは、 $\frac{1}{7p}$ の小数展開に注目し、  
2分割和や2分割差について  
研究を深めていくことを目的とする。

#### 予備知識

分母が $b$ のとき  $g^u \equiv 1 \pmod{b}$  をみたす  
最小の $u$ が周期 (長さ)

## 2. $\frac{1}{7p}$ の分割和の場合分け

$\frac{1}{7p}$  の循環節の2分割和をかきだすと次のようになる。  
表を観察すると、3つのパターンがある。

TABLE 1.  $\frac{1}{7p}$  の循環節の 2 分割和

分母	2 分割和	長さ	$g^m \pmod{p}$	$g^m \pmod{7}$
[3,7]	[6,6,6]	3	-1	-1
[7,7]	[9,9,9,9,9,9,9,9,9,9,9,9,9,9,9,9,9]	21	-1	-1
[7,11]	[9,9,9]	3	-1	-1
[7,13]	[9,9,9]	3	-1	-1
[7,17]	[4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1]	24	-1	+1
[7,19]	[9,9,9,9,9,9,9,9,9]	9	-1	-1
[7,23]	[9,9]	33	-1	-1
[7,29]	[2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,,]	42	-1	+1
[7,31]	[5,8,0,6,4,5,1,6,1,2,9,0,3,2,2]	15	+1	-1
[7,37]	[8,6,4]	3	+1	-1
[7,41]	[2,9,2,6,8,2,9,2,6,8,2,9,2,6,8]	15	+1	-1
[7,43]	[7,2,0,9,3,0,2,3,2,5,5,8,1,3,9,5,3,4,8,8,3]	21	+1	-1
[7,47]	[9,,]	69	-1	-1
[7,53]	[4,3,3,9,6,2,2,6,4,1,5,0,9,4,3,3,9,6,2,2,6,4,1,5,0,9,4,3,3,9,6,2,,]	39	+1	-1
[7,59]	[9,,]	87	-1	-1
[7,61]	[8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2]	30	-1	+1
[7,67]	[4,3,2,8,3,5,8,2,0,8,9,5,5,2,2,3,8,8,0,5,9,7,0,1,4,9,2,5,3,7,3,1,3]	33	+1	-1
[7,71]	[7,1,8,3,0,9,8,5,9,1,5,4,9,2,9,5,7,7,4,6,4,7,8,8,7,3,2,3,9,4,3,6,,]	105	+1	-1
[7,73]	[4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1]	12	-1	+1

表を観察すると、3つのパターンがある。

- ☒ 9がならぶ (黒)
- ☒ 142857の回転がならぶ (青)
- ☒ それ以外の数字がならぶ (赤)

## 場合分け

$$g^u = g^{2m} \equiv 1 \pmod{7p}$$

$$g^m \equiv \pm 1 \pmod{p}, \quad g^m \equiv \pm 1 \pmod{7}.$$

$\pmod{p}$  で場合分けすると ( $g^m \equiv +1$  または  $-1$  なので)

(1)  $A$ 型 :  $g^m \equiv 1 \pmod{p} \rightarrow$  (赤)

(2)  $B$ 型 :  $g^m \equiv -1 \pmod{p}$

$\pmod{7}$  で場合分けすると

(a)  $B_+$ 型 :  $g^m \equiv 1 \pmod{7} \rightarrow$  (青)

(b)  $B_-$ 型 :  $g^m \equiv -1 \pmod{7} \rightarrow$  (黒)

### 3. A型の2分割和

(例) 分母  $7 * 41$

→循環節 [003484320557491 289198606271777]

$$\begin{array}{r} 289198606271777 \\ + 003484320557491 \\ \hline 292682926829268 \end{array}$$

→循環節の2分割和 [29268 29268 29268]

→ $\frac{12}{41}$ の循環節が3つならぶ。

表1からA型(赤)の場合について  
2分割和をかきだすと次のようになる。



TABLE 2. A型の2分割和

分母	2分割和	長さ	回数
[7,31]	[5,8,0,6,4,5,1,6,1,2,9,0,3,2,2]	15	1
[7,37]	[8,6,4]	3	1
[7,41]	[2,9,2,6,8/2,9,2,6,8/2,9,2,6,8]	15	3
[7,43]	[7,2,0,9,3,0,2,3,2,5,5,8,1,3,9,5,3,4,8,8,3]	21	1
[7,53]	[4,3,3,9,6,2,2,6,4,1,5,0,9/4,3,3,9,6,2,2,6,4,1,5,0,9/4,3,3,9,6,2,2,6,4,1,,]	39	3
[7,67]	[4,3,2,8,3,5,8,2,0,8,9,5,5,2,2,3,8,8,0,5,9,7,0,1,4,9,2,5,3,7,3,1,3]	33	1
[7,71]	[7,1,8,3,0,9,8,5,9,1,5,4,9,2,9,5,7,7,4,6,4,7,8,8,7,3,2,3,9,4,3,6,6,1,9/7,,]	105	3
[7,79]	[8,6,0,7,5,9,4,9,3,6,7,0,8/8,6,0,7,5,9,4,9,3,6,7,0,8,8,6,0,7,5,9,4,9,3,6,,]	39	3
[7,83]	[2,8,9,1,5,6,6,2,6,5,0,6,0,2,4,0,9,6,3,8,5,5,4,2,1,6,8,6,7,4,6,9,8,7,9,5,,]	123	3
[7,107]	[8,5,9,8,1,3,0,8,4,1,1,2,1,4,9,5,3,2,7,1,0,2,8,0,3,7,3,8,3,1,7,7,5,7,0,,]	159	3

A型の2分割和は、  
 $\frac{k}{p}$ の循環節が右にある回数回並ぶことが観察できる。

## 定理

A型の2分割和は、 $\frac{k}{p}$ の循環節が並ぶ。

## 証明

$g^m \equiv 1 \pmod{p}$ ,  $g^m \equiv -1 \pmod{7}$  のとき

$$r_j + r_{j+m} \equiv ag^j + ag^{j+m} \pmod{7} \equiv 0 \pmod{7}.$$

より  $r_j + r_{j+m} = 7k_j$  とかける。

$$j = 0 \text{ のとき } r_m + r_0 = 7k_0$$

$$j = m \text{ のとき } r_{2m} + r_m = 7k_m$$

周期  $u = 2m$  より、上の式は  $r_0 + r_m = 7k_m$  となる。

よって、 $k_0 = k_m$  となる。

$$\begin{array}{rcl}
gr_j & = & 7pq_{j+1} + r_{j+1} \\
+ ) gr_{j+m} & = & 7pq_{j+m+1} + r_{j+m+1} \\
\hline
g(r_j + r_{j+m}) & = & 7p(q_{j+1} + q_{j+m+1}) + r_{j+1} + r_{j+m+1} \\
g7k_j & = & 7p(q_{j+1} + q_{j+m+1}) + 7k_{j+1}
\end{array}$$

$q_{j+1} + q_{j+m+1} = Q_{j+1}$  とおくと、式は

$$gk_j = pQ_{j+1} + k_{j+1}$$

となる。

$$j = 1 \text{ のとき } gk_0 = pQ_1 + k_1 \quad j = 2 \text{ のとき } gk_1 = pQ_2 + k_2$$

⋮

$$j = m - 1 \text{ のとき } gk_{m-1} = pQ_m + k_m$$

それぞれ、 $g^{m-1}$ 、 $g^{m-2}$ 、 $\dots$ 、 $g^0$  をかけて、辺どうしを加えると

$$\begin{aligned} g^m k_0 &= pg^{m-1}Q_1 + g^{m-1}k_1 \\ g^{m-1}k_1 &= pg^{m-2}Q_2 + g^{m-2}k_2 \\ &\vdots \end{aligned}$$

$$\begin{array}{r} +) gk_{m-1} = \\ \hline g^m k_0 = p(g^{m-1}Q_1 + g^{m-2}Q_2 + \dots + Q_m) + k_m \end{array}$$

$g^{m-1}Q_1 + g^{m-2}Q_2 + \cdots + Q_m$  (2分割和) を  $Z$  とおくと、  
式は

$$g^m k_0 = pZ + k_m$$

$pZ = g^m k_0 - k_m = g^m k_0 - g^m k_0 = k_0(g^m - 1)$   
となり、2分割和は

$$Z = \frac{10^m - 1}{p} k_0$$

となり、 $\frac{1}{7p}$  の A 型の 2 分割和には、

$\frac{k_0}{p}$  の循環節が並ぶことが証明された。

## 4. A型の2分割差

(例) 分母  $7 * 31$

→循環節 [004608294930875 576036866359447]

TABLE 3. 2分割和

$$\begin{array}{r} 576036866359447 \\ + 004608294930875 \\ \hline 580645161290322 \end{array}$$

TABLE 4. 2分割差

$$\begin{array}{r} 576036866359447 \\ - 004608294930875 \\ \hline 571428571428572 \end{array}$$

→2分割差

- $\frac{4}{7}$ の循環節 (571428) が2回ならぶ。
- 最後は572 (= 571 + 1) で終わる。

TABLE 5. A型の2分割差

分母の	2分割差	長さ	回数
[7,31]	[5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,2]	15	2.5
[7,37]	[8,5,8]	3	0.5
[7,41]	[2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,6]	15	2.5
[7,43]	[7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,5]	21	3.5
[7,53]	[4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,9]	39	6.5
[7,67]	[4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,9]	33	5.5
[7,71]	[7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,,]	105	6.5
[7,79]	[8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,8]	39	5.5
[7,83]	[2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,,]	123	20.5
[7,107]	[8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,7,1,4,2,8,5,,]	159	26.5

A型の2分割差をみると、  
 $\frac{k}{7}$ の循環節が右の回数だけ繰り返され、最後は  
 その半分+1が足されていることがわかった。

## 定理

A型の2分割差は、 $\frac{k}{7}$ の循環節が数回繰り返され  
最後は 半分+1 が足されている。

## 証明1

$g^m \equiv 1 \pmod{p}$ ,  $g^m \equiv -1 \pmod{7}$  のとき  
 $r_j - r_{j+m} \equiv ag^j - ag^j g^m \equiv 0 \pmod{p}$  より  
 $r_j - r_{j+m} = pk_j$  とかける。

$j = 0$  のとき  $r_0 - r_m = pk_0$

$j = m$  のとき  $r_m - r_{2m} = pk_m$

周期  $u = 2m$  より、上の式は  $r_m + r_0 = pk_m$  となる。

よって、 $k_0 = -k_m$  となる。



$$\begin{array}{rcl}
& gr_j & = & 7pq_{j+1} + r_{j+1} \\
+) & gr_{j+m} & = & 7pq_{j+m+1} + r_{j+m+1} \\
\hline
& g(r_j + r_{j+m}) & = & 7p(q_{j+1} + q_{j+m+1}) + r_{j+1} + r_{j+m+1} \\
& gpk_j & = & 7p(q_{j+1} + q_{j+m+1}) + pk_{j+1}
\end{array}$$

$q_{j+1} + q_{j+m+1} = S_{j+1}$  とおくと、式は

$$gk_j = 7S_{j+1} + k_{j+1}$$

となる。

$$j = 1 \text{ のとき } gk_0 = 7S_1 + k_1 \quad j = 2 \text{ のとき } gk_1 = 7S_2 + k_2$$

⋮

$$j = m - 1 \text{ のとき } gk_{m-1} = 7S_m + k_m$$

それぞれ、 $g^{m-1}$ 、 $g^{m-2}$ 、 $\dots$ 、 $g^0$  をかけて、加えると

$$\begin{aligned} g^m k_0 &= 7g^{m-1}S_1 + g^{m-1}k_1 \\ g^{m-1}k_1 &= 7g^{m-2}S_2 + g^{m-2}k_2 \end{aligned}$$

⋮

$$\begin{array}{r} +) gk_{m-1} = 7S_m + k_m \\ \hline g^m k_0 = 7(g^{m-1}S_1 + g^{m-2}S_2 + \dots + S_m) + k_m \end{array}$$

$g^{m-1}S_1 + g^{m-2}S_2 + \cdots + S_m$  (2分割和) を  $Y$  とおくと、  
式は

$$g^m k_0 = 7Y + k_m$$

$7Y = g^m k_0 - k_m = g^m k_0 + g^m k_0 = k_0(g^m + 1)$   
となり、2分割差は

$$Y = \frac{10^m + 1}{7} k_0$$

となり、 $\frac{1}{7p}$  の A 型の 2 分割差には、  
 $\frac{k_0}{7}$  の循環節が並ぶことがわかった。

## 証明2

また、2分割和  $Z$  を  $y_1$ 、 $y_2$  の2つに分けて変形すると、

$$\frac{g^{2m} - 1}{7} = g^m y_1 + y_2$$

$$\frac{g^{2m} - 1}{7} = (g^m - 1)y_1 + y_1 + y_2$$

$$(g^m + 1)(g^m - 1) = 7(g^m - 1)y_1 + 7(y_1 + y_2)$$

$$(g^m - 1)(g^m + 1 - 7y_1) = 7(y_1 + y_2)$$

$$g^m + 1 - 7y_1 = \frac{7(y_1 + y_2)}{g^m - 1}$$

$$\frac{g^m + 1}{7} = \frac{y_1 + y_2}{g^m - 1} + y_1$$

$$Y = \frac{g^m + 1}{7} = 1 + y_1$$

( $y_1 + y_2 = g^m - 1$ より) となり、  
2分割差には $\frac{k_0}{7}$ の循環節が並び、  
最後はそれの半分 + 1 で終わる ことがわかった。

## 5. 分子が一般の場合

(例) 分母  $7 * 17$

→分子1の循環節の2分割和 [428571 428571 428571 428571]

→ $\frac{3}{7}$ の循環節が4回くり返されている。

ここで分母  $7 * 17$  を固定して、  
分子を変えていくと次のようになる。

TABLE 6.  $p = 17$  のとき

分数 X	X の循環節の 2 分割和	第 2 列を循環節にもつ分数 Y
$1/7^{*17}$	[428571]	$3/7$
$2/7^{*17}$	[857142]	$6/7$
$3/7^{*17}$	[285714]	$2/7$
$4/7^{*17}$	[714285]	$5/7$
$5/7^{*17}$	[142857]	$1/7$
$6/7^{*17}$	[571428]	$4/7$
$8/7^{*17}$	[428571]	$3/7$
$9/7^{*17}$	[857142]	$6/7$
$10/7^{*17}$	[285714]	$2/7$
$11/7^{*17}$	[714285]	$5/7$
$12/7^{*17}$	[142857]	$1/7$
$13/7^{*17}$	[571428]	$4/7$
$14/7^{*17}$	[428571]	$3/7$
$15/7^{*17}$	[857142]	$6/7$
$16/7^{*17}$	[285714]	$2/7$
⋮	⋮	⋮

●  $p = 17$  のとき

- ・ 分子を変えても循環節の2分割和は、 $\frac{k}{7}$  の循環節
- ・ さらにその  $k$  も、周期6で循環 ( $k = 3, 6, 2, 5, 1, 4 \dots$ )

●  $p$  を変えてみても

- ・ 同様に、2分割和のもとの循環小数  $\frac{k}{7}$  が周期6で循環

→ そこで

サイクルが起こっている分子  $a = 1 \sim 6$  のときについて  $p$  を変えて  $k$  について考えてみる。



TABLE 7.  $\frac{a}{7p}$  の循環節の2分割和を循環節にもつ分数  $\frac{k}{7}$  の分母  $k$

分子 $a \setminus p$	$p = 17$	$p = 29$	$p = 61$	$p = 73$	$p = 89$	$p = 97$
1	3	2	6	3	6	5
2	6	4	5	6	5	3
3	2	6	4	2	4	1
4	5	1	3	5	3	6
5	1	3	2	1	2	4
6	4	5	1	4	1	2

分母が  $a = j$  のときの  $k$  を  $k_j$  とおくと、

$$k_1 + k_6 = 7$$

$$k_2 + k_5 = 7$$

$$k_3 + k_4 = 7$$

となっていることがわかった。

一般的にかくと、

$$k_j + k_{j'} = 7$$

$j = a, j' = 7 - a$  として  $j, j'$  に相補性があるといえる。

## 6. 今後の課題

$B_+$  型の分子が一般のときの2分割和について、  
 $k$  についての相補性を見つけられたが、  
まだ証明までできていないので、これを今後の課題としたい。